

参考文献の表記について

1 単行本の場合

＜日本語＞ 著者名（発行年）『書名』 発行所.

例：関大太郎（2003）『関西大学における初年次教育の課題』 関西大学出版部.

＜英語＞ 著者名.（発行年）. 書名, 発行所：発行地.

例：Smith, T. (2007). *Modern Higher Education and Society*, Los Angeles, CA: UNIV Press.

2 単行本の特定の章の場合

＜日本語＞ 章の著者名（発行年）「章の題目」収録されている単行本の編者名『書名』, 掲載ページ. 発行所.

例：吹田花子（2016）「大学が社会に果たす役割」関大太郎・山手次郎編著『大学教育改革』, pp.63-86. 関西大学出版部.

※なお、複数の和文著者名は「・」でつなぐ

＜英語＞ 章の著者名.（発行年）. 章の題目. 収録されている単行本の編者名, 書名, 掲載ページ. 発行所:発行地.

例：Johnson, A., McAdams, G., & Pawling, A. (2005). Creating inclusive classroom. In P. M. Simpson, & K. A. Tanaka (Eds.), *Internationalization of higher education* pp.56-82. New York: Uni Press.

3 雑誌論文の場合

＜日本語＞ 著者名（発行年）「論文題目」『雑誌名』 巻(号)数, 掲載ページ(pp は不要).

例：凜風桜子(2010)「高大接続と初年次教育」『高等教育開発ジャーナル』12(1), 100-117.

＜英語＞ 著者名.（発行年）. 論文題目. 雑誌名, 巻(号)数, 掲載ページ(pp は不要).

例：Chin, A. J., & Gray, E. (2012). Communication skills: an active learning approach. *Journal of College Students*, 15(2), 28-50.

4 翻訳書の場合

原著者名.（発行年）. 書名, 発行所:発行地. 原著者名(カナ名) 訳者名（翻訳書発行年）『翻訳書名』 翻訳書の発行所.

例：Brooks, A., & Ball, C. (2001). *Designing learning environment (Expanded 3rd ed.)*, San Diego, CA: Uni Press. A・ブルックス, C・ボール 関西文子訳 (2005)『学習環境デザイン』吹田山手出版.

5 インターネットからの引用の場合

＜日本語＞ 作成元（作成年）『ページタイトル』（URL）（引用者の最新アクセス日）

例：山手市教育審議会（2010）『個人情報保護に係る指針』

(<http://www.suita.edu.jp/xxx/xxxx/xxxx.12345.htm>) (2019年5月20日)

＜英語＞ 作成元.（作成年）. ページタイトル, (URL), (引用者の最新アクセス日).

例：Association for Teaching and Learning. (2012). *Designing an Inclusive Classroom*, (<http://www.atl.edu.us/xxx/xxxx/xxxx.12345.htm>), (2019.5.20).